知らんかった

島本のオリジナル辛子明太子の「包装紙」をよく見てみたことはございますか？「とても印象深い」と喜んで頂いており、包装紙で「島本」ってわかる方も多いんですよ。

一、〇五〇円～二、五〇〇円の明太子の包装紙は、福岡市内の街並みを描いており、「紐かけ」とともに「寿司折」をイメージしてつくったんですよ。また、三、一五〇円～の明太子の包装紙には、文化九(一八一二)年に写された江戸時代後半の「福岡・博多の様子を描いた古地図」をモチーフにしています。

実際の古地図の侍屋敷には屋住着、家紋等が書き込まれているのですが、名前を入れることが出来ないので…良く見ると…!?ちなみに福岡は、慶長五年(一六〇〇)の関ヶ原の戦いの後、豊前中津から移ってきた黒田長政によってつくられた町なのです。今はビルがいっぱい建っている所が昔は林や砂浜だったのが包装紙を広げてみると当時の博多の町並みを見ることができますよ。

島本スタッフ職人技！

とても手先が器用な製造部の中島陽子さん。二年程前から独学で「ちりめん細工」を始められ、今ではご覧の通りプロ級です。現在、福岡市内の各店舗に展示中。お客様の中には、作品を見られて「どなたが作っていらっしゃるの？」「教えて頂きたいわ」とのお声をかけて下さる方も。

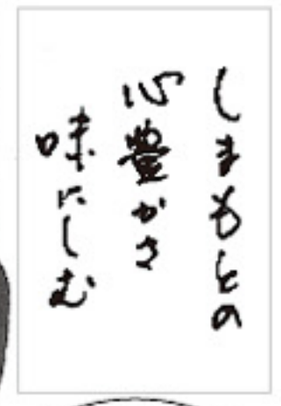
中島さんは好きで作っているので…。とても謙虚。お客様に喜んで頂ければ十分ですとの事。こんな素適なスタッフさんに支えられて私たちも感謝です。

本社工場直売店にて

駅前店の駐車場のご案内

こちらのパーキングにお停めいただき駐車券をご持参下さいませ。

すばらしい川柳有難うございます ここで一句川柳発表コーナー



お客様の声

全国からたくさんのお便りが届きました。ありがとうございます。

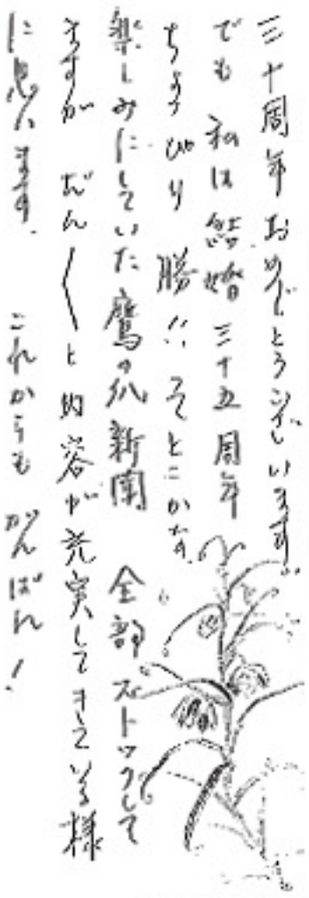
明太子といえば島本‥となりすっかり我が家の定番です。

九州のお友達に紹介してもらったのですが“知る人ぞ知る”本物と感謝しつつ愉しませていただいています。今回も届くのが愉しみです。よろしくお願いします。

愛知県 I.S様

沢山の商品をつくることはできませんが、「本物」の味にこだわり続けて参ります。これからも末永いご愛顧の程、お願い致します。

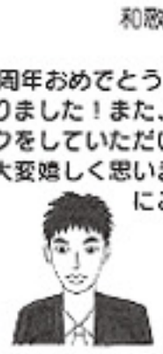
ふれあい課　外尾



和歌山県 K.Y様

35周年おめでとうございます。参りました！また、新聞のストックをしていただいているとは大変嬉しく思います。

にこや課　金原



長年探していた味にやっと出会えました。

いつもはお互い黙々と食事をするのですが、今晩は二人で明太子を食べながら思い出話に会話が弾みました。

もちろん二人ともご飯の量は倍になっちゃいましたけど^^

和歌山県 E.M様

白いご飯に紅い明太子。
この紅白は食欲をそそるベストテイスト。私も好きでご飯1杯に対して明太子1本はいただきます。

ドリーム課　松本

久々に博多へ行きました。

今までは明太子なんてどこも同じだと思っていた私は大馬鹿野郎でした。

辛子明太子は、辛子につけたら出来るくらいに思ってました。ホテルに泊まり受付で、名前ばかり有名な明太子ではなく本当にいいものはどこへ行けばいいか尋ねたら「シマモト食品」へと言って場所を教えてくれました。30分も歩いてやっと見つけた島本食品感動でした。有田焼に入った物や、釣り子辛子明太子を数点いただきました。驚きました。明太子の味ってこんなに違う物だとは…今度は周りの皆に当然のように「明太子は島本！」って教えてやります。美味しいものをありがとう。

岡山桃太郎様

感激のお言葉本当に有難うございました。ここだけの話、島本に入社する前は私も明太子はどこも同じと思っていました(苦笑)

博多駅前店　田原

料理が苦手な私でも「料理用めんたい子」のおかげで簡単＆手軽に「明太子スパゲティ」が完成です！いいレシピがありましたら、また教えて下さいね♪

ふれあい課　岩橋

編集後記

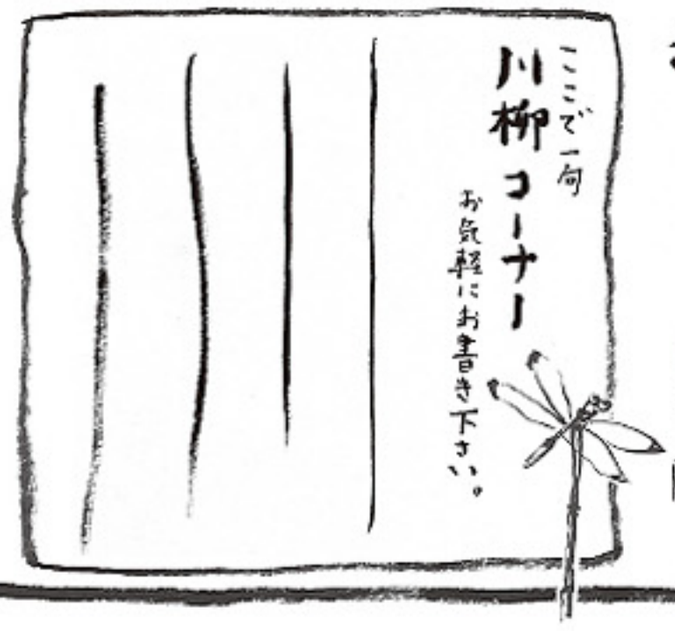
いつも鷹の爪新聞を読んでいただきましてありがとうございます。

編集担当の金原です。昨日、赤とんぼが飛んでいるのを見て何夕も夏が終わり、少しずつ秋の風が吹いてきたのかなと感じています。

9月には、秋の訪れをつげる「博多三大祭り」の放生会(ほうじょうや)がくしみ海・山始まります。生命をいつくしみ海・山の幸の豊穣に感謝するお祭です。皆様の地域ではどんな時に「秋」を感じていらっしゃいますか？しかし夏は暑かったバイ(bye)！

(キリトリ係)

お便り、ご感想等々お待ち致しております。



(キリトリ係)

お名前 または ペンネーム

TEL

切り取ってご郵送、又は
FAX 092-962-1730へ
又は info@simamoto.co.jp
お願い メールの題名を「新聞をみて」と記入して下さい

お待ち致しております。